

日本による途上国への気候変動適応策支援のための提言・普及啓発 ～特にジェンダー・LNOB配慮の視点から～

活動地域  東京都



気候変動適応に関する主催セミナーの様子

課題

気候変動の悪影響は新型コロナウイルス禍で増加している脆弱な立場におかれている人々(例えば貧困に苦しむ女性等)の方が受けやすく、そうした人々を取り残さないための適応策が必要。

目標

日本の途上国適応策支援や多国間開発銀行との適応策における連携にLNOB(誰一人取り残さない)・ジェンダー視点が反映され、プロジェクト形成等にいかされる。



今後の展望

日本が議長国であるG7やG20・COP28等の国際会議の機会を活用し、国内外の様々なNGOと連携してステークホルダーとの対話・提言のインプットを行い、政策提言・普及啓発活動をスケールアップさせる。

ひろげる助成

2年目

知識の提供・普及啓発

活動内容と成果

- 「気候変動に起因する被害を最大限防ぐための『日本の施策と国際発信』」に関する提案～国連気候変動枠組条約第27回締約国会議(COP27)を機に～)を作成し、政策担当者との意見交換やCOP等の国際会議の場で手交・発信した
- 気候変動適応施策・ファイナンスセミナー「COP27(適応のCOP)に向けた気候変動枠組条約第56回補助機関会合(SB56)結果と適応施策・ファイナンスの最新動向～誰一人取り残さない適応策構築を目指して～」を開催(147人参加、アジア開発銀行首席気候変動専門官等が登場)



参加したCOP27の様子

政策担当者への提言インプット回数 **13回**

メディア掲載/寄稿/会合招聘 **22回**

今年度計画の達成度 **81%**

全体計画の達成度 **52%**

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

活動への理解を広げるため、新たな対象者に向けて分かりやすく情報発信するためのコンテンツ等の検討に時間を要した。

■ 工夫した点

Zoomを活用し、これまで以上に多くの関係者へヒアリング・意見交換を行い、提言・普及啓発活動の改善に繋げるようにした。

〒107-0052
東京都港区赤坂1-4-10
赤坂三鈴ビル2階
電話：03-3505-5552
E-mail：jacsces@jacsces.org
HP：http://jacsces.org/

